

# 茨城とベトナム

Xin chào いばらき

NPO法人  
茨城県ベトナム友好協会

2022年 7月号  
令和4年

第240号

制作/NPO法人茨城県ベトナム友好協会 〒310-0034 茨城県水戸市緑町1-1-18 茨城県立青少年会館内  
TEL 029-224-3500 FAX 029-224-3505 ホームページ <http://www.nv-i.jp> メール [webadmin@nv-i.jp](mailto:webadmin@nv-i.jp)

## NPO法人として発足

新たなスタートに際し、NPO法人茨城県ベトナム友好協会として友好協会のあり方や思い、今後の活動、抱負などを理事と監事に伺いました。



理事長  
山口やちゑ

1967年に設立された当協会は、今年で活動55年目を迎えます。ベトナムとの友好という一点で多くの先人が結集し、力を合わせ、互いの友好発展に今日まで取り組んで参りました。その節目となる今年7月、新たに「NPO法人茨城県ベトナム友好協会」として活動を開始



できることはとても喜ばしいことと考えています。ここ三年に及ぶコロナ禍においては、ベトナム人技能実習生、留学生、日本語学校の学生をはじめ、困難を抱えている多くのベトナム人、関係日本企業の支援に当たってきました。今後は、NPO法人としてさらに活動の幅を広げ、柔軟な発想でベトナム大使館や在茨城県ベトナム人協会、県内在住のベトナム人や各大学との連携を深め、関係機関、県内外の活動団体と協力しながら更なる発展を目指して行きます。

また、NPO法人として立場が明確になったことで、協力しなくてはならない多くの会員、関係者にとっても意義のある活動となるよう新たな活動も行って参ります。



筆頭副理事長  
中川喜久治

令和四年、七夕の節句にめでたく「NPO法人茨城県ベトナム友好協会」として新たな出発をすることができました。ご尽力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

故下山田名誉会長が築き上げてこられた「人と人」市民レベルでの友好支援という素晴らしい実績を礎とし、今NPO法人として大きく羽ばたこうとしている事は、ご同慶の至りで、亡き名誉会長もとても喜んでくれていると存じます。

今日の社会情勢は、人口、環境、地政学的課題等、到底一国では対応できない難題が山積しています。だからこそ国を越えて「人と人」の友情、信頼関係を深めることが大切な事になります。

この度のNPO法人化を大きな節目として、改めて天の河を渡る懸け橋となって、新たな時代にふさわしい社会に信頼される組織として活動し、来日され

る皆様が、仕事先、研修先、留学先として、日本を選んで良かったと思われるよう、真の友情が結ばれる環境を構築することを目指して頑張つて参りましょう。皆様の更なるご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。



副理事長  
池田勇夫

設立55周年の記念すべき時に、NPO法人茨城県ベトナム友好協会としてスタートを切ることができたことは、本当に喜ばしく、また山口理事長をはじめご尽力いただいた多くの方々にも心より御礼申し上げます。

亡き下山田虎之介名誉会長がどれ程この日を喜んでくださったことかと、歩んでこられたベトナムと日本との繋がりが振り返り、感無量です。

これまでの活動にとどまらず、県との協力、青少年育成活動の充実、各大学の交流、大使館や外務省をはじめ多くの企業との協力など、更に交流を広げて行きますよう活動の充実に努めて参りたいと思っております。

ご支援、ご協力頂いている会員、支援者の益々のご健勝をお祈りするとともに、今後とも茨城県ベトナム友好協会をよろしくお願い致します。



副理事長 長樹 正樹

日本ベトナム友好協会茨城県連合会は、今年設立55周年を迎え、7月よりNPO法人として新たにスタートすることになりました。

設立当初より、故下山田名誉会長様を中心に、ベトナムへの教育支援や文化交流をはじめとした様々な活動を通し、ベトナム、日本間の友好、発展に寄与されてきました。



理事 小野昭夫

この度、多くの関係者の努力により、日本ベトナム友好協会茨城県連合会からNPO法人茨城県ベトナム友好協会として新たなスタートを切ることができたことは、設立初期から関わってきた者として、万感の思いです。

係や、自然環境等、絶えず変化し続ける今日の社会の中で、アジア圏における平和的な発展に大きな影響を与えていくと考えます。

現在、日本におきましても、コロナウイルスの影響により、職を失った在日ベトナムの方々の生活苦等、社会的な課題が多く散在しております。

新たなNPO法人としての今後の活動として、山口理事長のもと、このような社会課題へのご支援はもちろん、文化、経済、人材など様々な面で両国の交流を図り、日本とベトナムの架け橋として、両国の平和と発展の一助となれるよう、尽力して参ります。

ベトナムとの友好発展はもとより、会員の仕事と生活を守る活動をしてきた友好協会ですが、さらにNPO法人として時代に合った活動を展開していくことは、とりわけベトナム人労働者や高度人材で活躍している県内在住の多くの外国人にとって必要なことです。

私個人の力は微力ですが、気持ちを新たにNPOとしての活動に力を注いで行きたいと思えます。



理事 今木周平

当会(旧・日本ベトナム友好協会茨城県連合会)は、今年で創立55周年を迎えました。

この大きな節目となる今年の7月7日、正式に認可



理事 大塚則昭

長年県政に携わり、広い視野で物事を見て、計画し実践していく山口やちる理事長を中心に、この度NPO法人茨城県ベトナム友好協会が設立できたことは、私たちがとって新たな希望となりました。

今までの活動を土台として、更なる活動の場が広がり、今日まで支援してくださった多くの会員をはじめ協力者の方々にも有意義な活動となっていく事と思えます。

今まで以上にベトナム大使館をはじめ関係団体と協

され「NPO法人茨城県ベトナム友好協会」と名称を改め、新しいスタートを迎えました。

今年5月に逝去された山下山田名誉会長へ正式認可のご報告が叶いませんでしたが、誠に残念でありませんが、きっと天上よりお喜び下さっておることと想いを馳せております。

さて、NPO法人として認可されたことに伴い、組

力し、茨城県ベトナム友好協会にできることを積極的にやっていきたくと心新たにしています。

会員みなさん、関係者のみなさん、今後ともご支援ご協力をよろしくお願致します。



理事 砂川豊朗

2020年より突入したコロナ禍での友好協会の活動は本当に素晴らしかったです。

生活困難となった日本在住の留学生、技能実習生の為の無料の弁護士相談事務所の開設。各自自治体、大学、

織としての更なる透明性や存在意義等、対外的な責任も当然重くなるものと考えます。

今現在、世界中の人々が新型コロナウイルスの感染拡大・ロシアによるウクライナ侵攻・インフレによる経済危機等様々な面で大きな不安・恐怖感の渦中にあるのではないのでしょうか。

このような厳しい世界情勢の中、当会としましては

日本語学校などへの生活必需品の贈呈。

20年の秋には、台風によるベトナム中部被災への物資援助。『助け合い』の友好協会の精神が働きとなった活動でした。

今後、コロナが収束し新しい世界が築かれていく事となります。各国が協力しあって作り上げていく新しい世界です。

日本とベトナムもより一層の協力関係になっていきます。

茨城県ベトナム友好協会も今までの重要な役割を担う事となります。

新体制でのスタートにあたり、日本人とベトナム人が共に手を取り合って笑える姿がたくさん作れるよう、会の一員として精進して参ります。

改めて友好活動としてどのような事が出来るのか、会員の皆様並びに当会の活動に対しご賛同を頂いております。皆様と意見を交わしながら模索し、小さくとも一歩一歩着実に実践していければと思っております。

そのような所存です。今後とも皆様方のお力添えを賜りますよう切にお願い申し上げます。

更なる社会的信用の確立 法人格の取得により、全ての場面で厳密な事務処理が必要になりました。

業務報告書、活動計算書、会計報告書を所轄庁の茨城県に提出義務があり、開示要求があれば全てを開示しなくてはなりません。

今後一層しっかりした事務局の運営体制を作り、第三者から見ても問題のない透明性のある事務処理を遂行したいと思えます。

事務局一同



事務局長 村田 統括 大場 事務局次長 雑賀



理事  
樋口宗治

この度、茨城県ベトナム友好協会がNPO法人として新しい出発をされ、小生その出発にあたり理事を拝命致しました。

友好協会入会の日も浅く、故下山田名誉会長とのご縁も薄き身ではありますが、ご選任いただきました事、身に余る光栄と感謝し、故下山田先生の御意志の方向の一なりとも受け継ぎ、勤めを果たしていく覚悟であります。

また、草々の諸先輩方の教えをご頂戴し精進してまいる所存ですので、何卒宜しくお願い致します。

今日世界は強者がその力で弱者を支配しようとする動きが顕著であります。かつてベトナムも強者が支配し、民族が苦難の茨の道を歩んだ歴史があります。

その中で不撓不屈の戦いで民族の誇りと自立を常に失わず、国土は蹂躪され多大な被害を出しながら、今日の平和な国を築かれたベトナム、心から尊敬してやまない国であります。縁ありまして茨城県ベトナム

ナム友好協会に関わらせていただきました事、望外の喜びです。山口理事長をお支えし、会の増々の発展の為、全力を傾けまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。



理事  
中川喜夫

この記念すべき門出を迎えられたことは、皆様をはじめ多くの方々のご尽力の賜物と存じます。そしてこの新体制の中で

の新たなスタートは身に余る光栄であり、御期待にこたえられるよう重責を果たして参る所存です。

さて、誠に僭越ながら抱負に代え2つの言葉『宇宙船地球号』『地球人』をご紹介します。

前者は地球上の資源の有限さを、後者は国籍を問わず多様性を尊重し助け合う精神として、私が国際活動に携わる際に大切にしている概念です。理想論にも聞こえますが、日越交流から心身の豊かさを育み、地球の尊さへ思いを馳せるゆとり

の創出が、平和な世界の真

現にも繋がるのではと信じています。当協会活動におきましても、業界の垣根を越えた連携を一層高め、社会はどう変化し、今何が求められているのかを的確に捉える事も重要かと感じます。若輩でございますが、皆様と共に日越の友好の懸け橋を築き歩んで参りたく存じます。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



監事  
中山敬二

日本ベトナム友好協会茨城県連合会として長期に渡り、活動を続けた皆様と共に、そのお供をしてまいりました。誠に僭越ながら抱負に代え2つの言葉『宇宙船地球号』『地球人』をご紹介します。

同時に組織への要望など、風当たりも強くなり、実力を問われることになるやもしれません。

事業の公共性、財政の透明性など山口理事長の御指導のもと、微力ながら襟を正して任務を全うしたいと考えております。

また、監事以外にも日本

とベトナムの友好に何らかの形でお役に立てる様、参加したいと考えております。不慣れな点があるかと存じますが、皆様の御指導、御鞭撻を賜りますようよろしく御願ひ申し上げます。最後になりますが、会員の皆様には、再びお目にかかれることを楽しみに、新型コロナウイルス感染症には十分に御留意なされますよう御願ひ申し上げます。



監事  
栗原利一


この度はNPO法人として「茨城県ベトナム友好協会」新たなスタートを切ることができましたことを心よりお喜び申し上げます。

故下山田虎之介名誉会長とは同じ小美玉ということもあり、20有余年協力させていただき、訪問団として共にベトナムにも行くことができたことは貴重な経験となりました。


これまでも監事として関わって参りましたが、今後は、更なる発展を願ひ、微力ではありますが友好協会に力を注いで参りたいと思ひます。

また、監事以外にも日本

私たちは友好親善の懸け橋  
機関紙の発行を応援します


 総合建設業 鈴縫工業株式会社

 SEKISHO 関彰商事株式会社

 NPO (特定非営利活動法人) 日本スポーツ振興協会


 株式会社 鹿島アントラーズ FC

 アイザワ証券

 正直に元元と 茨城県信用組合

 語り合う、人・街・水。 A-NAC

 コスモ総合建設株式会社

 GB グリーンビジネス協同組合

 筑波記念グループ 筑波記念病院 TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# 55年の足跡を振り返って ベトナムと友好の懸橋

## 日本ベトナム友好協会茨城県支部の結成

1965年、アメリカはベトナムの共産化を阻止する口実で本格的に軍事介入し南ベトナム軍を支援、北爆を行い地上軍を投入、北ベトナム軍・南ベトナム解放戦線との戦闘を開始しました。

当時県内では、ベトナム反戦運動が労働組合、平和団体などを中心に幅広く展開し、反戦運動が全県的に広がるようになりました。

このような中、54年3月19日に結成された日本ベトナム友好協会の茨城県支部結成の機運が高まり、67年7月9日に水戸市大町にあった国保会館で「日本ベ



ザップ将軍を表敬訪問

トナム友好協会茨城県支部」が結成されました。

この結成会で会長に下山田虎之介氏が選出され、当面の活動としてアメリカのベトナム戦争反対署名、募金、宣伝活動のほか上映会、ベトナム写真展の開催などが決められました。

## 茨城県連合会へ名称変更

ベトナム戦争終結後もベトナムの復興に向けて下山田会長を中心に党派を超えた理念の下「人間を大切に」する運動」と位置づけ、ベトナム中央歌舞団の水戸公演、友好訪問団の派遣、留学生との交流会など多彩な事業を通して、多くの人々が結集するようになり、03年7月の総会において全県組織の茨城県連合会へと発展させました。

## 訪問団や新春のつどい

92年から続くベトナム友好訪問団の派遣。毎年100人を超える規模で開催する「新春のつどい」ベトナムの大学や児童保護施設での交流・支援事業、留学生や在日ベトナム人との交流や支援活動など、県連活動の基礎を確立しました。

14年、国賓として来日したベトナムのチュオン・タン・サン国家主席来県には、各界から300人超の歓迎パーティーを開催。

その返礼として同年、当時の橋本昌知事を団長とする100人を超える大訪越団は、国賓級のおもてなしを受けました。

## 第2代会長に齋藤平氏

15年7月、新会長に元茨城新聞副社長齋藤平氏が就任し、下山田虎之介氏は名誉会長職に就きました。

9月には、新たに駐日大使として着任したグエン・クオック・クオン大使の歓迎

迎会を水戸市内のホテルで開催し、知事をはじめ各界代表約50人が新大使を歓迎し一層の交流促進を誓いました。

11月、駐日ベトナム大使館に「日立紅寒桜」を贈呈し、大使館中庭で植樹記念式典を行い、日本とベトナムの末永い友好親善を誓いました。



大使館庭に桜を植樹



駐日ベトナム特命全権大使グエン・クオック・クオン閣下歓迎会  
Lễ tiếp tiếp Ngồi Đai Sư đạc mệnh Việt Nam tại Nhật. NGUYEN QUOC CUONG

駐日ベトナム大使歓迎会

16年3月、ベトナムを舞台に認知症の母の介護生活に奮闘する日本人女性の姿を描いた映画「ベトナムの風に吹かれて」を県民文化センターでの4回上映には千人余が観賞し、来場者からは「ベトナムと日本の歴史的な関わりに初めて知った」「ベトナムの街並み、現地の人たちとの温かい交流が印象的だった」など、様々な声が聞かれました。

次ページへ続く

私たちは友好親善の懸け橋  
機関紙の発行を応援します

医療法人社団善仁会  
**小山記念病院**

社会福祉法人 寿広福祉会  
特別養護老人ホーム・ハーモニー石下

用地総合補償コンサルタント  
**三陽用地株式会社**

ひとりひとりの暮らしの近くに。  
**JA茨城県中央会**

社会福祉法人 二十一世紀会

**Aoki アオキ株式会社**

美術品輸送から霊柩車まで  
**株式会社 アサヒヤ**

株式会社 **ホコタ設計コンサルタンツ**  
HOKOTA.EC

自然と環境を大切に。 廃棄物高度リサイクル施設  
**株式会社 茨城環境企業**

(株) **中山敬二建築設計事務所**  
KEIJI NAKAYANA ARCHITECTS

**創立50周年記念**  
 17年10月「茨城県連合会創立50周年記念式典」を水戸市内のホテルで開催し、グエン・チュオン・ソン駐日公使や大井川知事など政

また、同じフエ市にある子ども保護施設「アンタイ子どもの家」も訪ね、日本から運んだ絵本百冊や支援金を寄贈し、その後の支援活動に繋がりました。

協定書に署名する齋藤会長



前ページより  
 第20次友好訪問団が11月、現地を訪問し、フエ外国語大学との「交流に関する協定書」を結び、両者の友好促進を誓いました。その後、フエ大からの留学生を対象にした会員宅でのホームステイ、大学主催の「日本語スピーチコンテスト」への審査委員派遣など交流が進みました。

**第3代会長に山口やちる氏**  
 19年6月、新会長に前茨城県副知事の山口やちる氏が就任し、齋藤平氏は顧問に就任しました。  
 新体制の下、長年の課題であった財政健全化のため、新規会員や企業会員への複数口の会費納入を押し進めることや、補助金や助成金を活用するために交付申請をしました。  
 さらに事務所を移転することによって事務所家賃も

盛大に行われた50周年記念



財界関係者と会員ら約130人が出席し、さらなる発展を誓い合いました。

ベトナム外務省を表敬訪問  
 20年からのコロナ禍においては、生活に苦しむ県内のベトナム人を中心とした外国人を対象に、10ヶ所以上の会場で延べ千人以上の食糧支援を行いました。



軽減することができ、従来実施していた年2回のカンパによる財政支援を解消するなど、財政改善を果たしました。  
 加えて事務局のOA環境整備と職員手当支給を開始するなど、事務局体制の強化も図られ、一層充実した組織へ変革しました。  
 10月「ベトナムの夕べ」の開催や、ハノイ代表団の茨城県視察における協力を行い、ベトナムとの連携強化が図られました。  
 11月、第23次友好訪問団が、青少年12名を含む計41名派遣し、ベトナム外務省、日越大学、人民委員会などの交流が行われました。

悩みや不安解消に向けて弁護士による無料法律相談は6回実施し100件を超える相談に対応しました。これらの活動に対し、駐日ベトナム大使から21年4月、感謝の表彰を大使館で受けました。  
 一連の活動の様子は新聞社やテレビ局などマスコミで数多く取り上げられるようになりました。

**NPO法人設立**  
 社会的な信用度を高めるとともに組織体制の強化を図るため、21年9月より任意団体からNPO法人への移行準備を始めました。  
 22年5月、臨時総会(NPO法人設立総会)において、県連合会のNPO法人への移行を全会一致で可決しました。  
 7月1日の登記完了を受け、新たに「NPO法人茨城県ベトナム友好協会」と生まれ変わりました。

杉田弁護士による無料相談会



私たちは友好親善の懸け橋  
 会報紙の発行を応援します

**Global HR Strategy**  
 弁護士法人Global HR Strategy GHR法律事務所

社会福祉法人 **祥風会**  
 社会福祉法人祥風会

KAMAYA MOTORS  
**釜屋モーターズ**

土地・建物総合コンサルティング  
**株式会社つくばパブリック**

**Yakult** 水戸ヤクルト販売株式会社  
 ミト、モット、ヤクルト

Asia Human Training Development Organization  
 一般社団法人アジア人財教育開発機構

**株式会社 君山重機**  
 KIMYAMA JUKI

地域お助け隊 **Green TAXI**

**株式会社 大洋**  
 TAIYO

特定総合建設業  
**株式会社 オリエンタル技建工業**  
 ORIENTAL

# 多文化共生推進協議会開催

## 八千代町で新たな取り組み

第1回八千代町多文化共生推進協議会が7月19日、八千代町役場において開催され、茨城県ベトナム友好協会が八千代町の野村勇町長より委託を受け、村田みのり事務局長が委員として出席しました。

八千代町にはベトナムをはじめインドネシアやフィリピンなど多数の外国人が生活し、農業などで働いています。

古宇田信一副町長をはじめ、町議会議員、商工会会

長、区長协会会长、東京出入国管理局、下妻警察署、筑西労働基準監督署、監理団体、茨城県女性活躍・県民協働課、茨城県国際交流協会など約30人が集まり、今後の八千代町の多文化共生

第1回多文化共生推進協議会



トウイさん(中央)



## ベトナムと茨城の新たな交流を

ハノイの越日文化教育研究所理事長グエン・ティ・タイン・トウイさんと水戸市内のホテルで7月28日、人流が戻りつつある、日本とベトナムについての意見交換を行いました。

トウイさんは、当協会をはじめ、駐日ベトナム大使館、奈良県や神奈川県とも長年に渡り深い協力関係にあります。

ベトナム文化交流会「ベトナムの夕べ」を開催した際、ベトナム国立歌舞団のダン・バウ(一弦琴)奏者ホアン・スアン・ビン氏を紹介して頂いた経緯などがありました。

現在、空港での水際対策

について意見交換を行いました。下妻警察署長によると、小屋の中に数名で宿泊まりさせたり、冷房や暖房もないプレハブ小屋に生活させたりと、厳しい環境で早朝から夜遅くまで仕事をさせる雇用主もいるのが現状で、深刻な問題となっています。

多くの事件や事故は外国人労働者が厳しい状況に追い込まれているのも一つの要因となっていると話します。雇う側も相手の立場に立った関わりが求められています。

今後八千代町では「日本語おしゃべりサロン」の開設を通して国際交流を図るとともに、生活支援、社会参画支援などに取り組んでいきます。

当協会としても八千代町の地域主義モデルの取り組みに積極的に参加していく予定です。

も緩和され、ベトナムとの人流も戻りつつあります。

同時にベトナムの送り出し機関もその数が急速に増え、中には十分日本語の指導や生活指導もしないまま、技能実習生を送り出す無責任な組織も増えているのが実情です。

一方、日本側の受け入れ機関も、きちんと関わっているかが問われ、互いの国どうし大きな課題となっています。

また、多くのベトナム企業が日本とビジネスをしたいと準備しているものの、日本側の動きが遅く、ビジネスパートナーとして共に活動できずにいるのも現状です。

今後もトウイさんと協力してベトナムの情報を収集すると共に、新たな友好関係の構築を目指して行きたいと思えます。

トウイさんは11月まで日本に滞在する予定です。

私たちは友好親善の懸け橋  
会報紙の発行を応援します

**JOKOH**  
保温・保冷・板金・塗装  
株式会社 **城光断熱**

外国人採用を  
お手伝い致します  
株式会社 **アセアン**

**昭和建設株式会社**

**HEISEI**  
平成建設株式会社

石・タイル・設計施工  
株式会社 **ヤナギシタ**

農地所有適格法人  
株式会社 **ワールドファーム**

株式会社 **大洗工芸社**

株式会社 **河野正博建築設計事務所**

特定建設業  
株式会社 **中村工業株式会社**

株式会社 **アルファジャパン**  
ALPHA JAPAN LTD.

# コロナ禍でも活動開始へ

## 協会との連携を模索

在茨城県ベトナム人協会会長のグエン・ホン・ソンさんと、副会長のタン・ベト・タンさんが、今後のベトナム友好協会とベトナム人協会の連携について話し合った。6月22日、友好協会の事務所を訪れました。



左から事務局を訪れたソン会長とタン副会長

在茨城県ベトナム人協会では、これまで「ベトナム料理紹介・交流会」を行ってきており、今年度の後半(10月)にも実施する計画を立てています。

活動を発展させ、2023年度の中ころにおいては、日本の学校給食で伝統的なベトナム料理を紹介することを目標として「学校

給食のメニューにベトナム料理追加」のキャンペーンを予定しています。

また、23年2月には「日越ONスマイルハートのプロジェクト」と題して、日本国内、特に茨城県在住のベトナム人の様々なコミュニケーションでの仕事の様子、勉強をする姿、日常生活の喜びなどを撮影した写真を展示する写真展を開催することを企画しています。

さらに、ベトナム人協会では来年の9月21日に日本とベトナムが外交関係樹立50周年を迎えることを記念して「茨城県ベトナムフェスティバル」を23年4月30日〜5月1日に開催することを検討しており、開催場所、開催規模、開催方法などについて具体的に案を出し合いました。

当協会としてもベトナム人協会の活動に全面的に協力と話し合いを続けて行くことを確認しました。

茨城キリスト教大学に留学中の学生4人と卒業生に食糧支援を7月31日に行いました。コロナの急速な増加のため、うち3人が帰国することになりました。

フエ外国語大学のグエン・アイン・ティさん、グエン・ティ・ハインさん、ホーチミン市フーフリット大学のズオン・タイ・ニーさん、ドー・ティ・トウイ・チャムさんと卒業生のトゥー・ティ・ホン・リンさんに食糧支援を行いました。

ティさんは来年まで滞在し、他の3人は9月までに次々と帰国します。対面での授業を通し、多

## ベトナム人留学生に食糧支援

本当にありがたい。日本のお菓子をみんなと食べます」と笑顔で話してくれました。



また、3月まで留学を続けるティさんは「焼き

肉屋さんでアルバイトをしています。アルバイトを通して日本人の考えなど多くのことを学ぶことができました。自ら日本を体験したかったので、頑張ります。こうして友好協会の方と関われるのは心強いし、食糧やお菓子もすごく嬉しい」と嬉しそうに話しました。

本来ならホームステイなどを実施する予定でしたが、コロナの拡大で出来ないため、今後は会員の村田のつきさんと情報交換をすることを約束しました。

私たちは友好親善の懸け橋  
会報紙の発行を応援します

鉄骨工事・太陽光発電設置工事  
**たんげ技建**

pepsi 北関東ペプシコーラ販売株式会社

**(株)砂川屋**

非破壊検査 コンクリート構造物調査 建物調査  
**株式会社 テクニカルワークス**  
一級建築士事務所

株式会社 **亀山工務店**

KIKUCHI 株式会社 **菊池興業**

株式会社 **高竜組**

うなぎ蒲焼き・お弁当  
**中川楼**

1962-2022 物流で人々を幸せに。  
**60 沼尻産業**

**第一熱学建設株式会社**  
Daiichinetsugaku.co.ltd.

〈編集後記〉

茨城県連合会としての機関紙も会報紙となり、題字もリニューアルしました。会報紙第一号として、新たなスタートに向けて、新役員に組織への抱負などを書いていただきました。当協会のロゴマークはベトナムにとって馴染みのあるハスの花に見立て、茨城のIを左手の人差し指で、ベトナムのVを右手の親指と人差し指をクロス(ベトナムの若い子たちが写真を撮る時ハートに見立ててのポーズ)したデザインと変更しました。



Ibaraki Vietnam Friendship Association  
NPO 法人茨城県ベトナム友好協会

ホームページも順次一新していく予定ですが、メール、ホームページのアドレスは今まで通り変更ありません。

事務局は通常、月曜日から金曜日までの午後1時から午後4時まで開いていますが、諸行事により留守の場合もございますので、電話等でご確認ください。

# リンさんが日本企業に就職

コロナウイルス拡大の影響で帰国困難だったフエ外国語大学卒業生で茨城キリスト教大学の交換留学生のトウ・ティ・ホン・リンさん(26歳)が、インターシップ(就業体験)として働いていた会社への就職が決まり、現在は日立市の



就職が決まったリンさん(右)

株式会社ユニキャストの社員として事務の仕事をしています。

「この2年間は帰国もできず、昨年9月に大学の寮を出てからは、現在の会社の社長さんにお世話になり、なんとかインターシップを続けてきました。正式に社員になったときは本当にありがたく、助けてくれた皆さんのために頑張ろうと思いました」と安堵の表情で話しました。

日本語も堪能なリンさんは、現在関彰商事株式会社で働いているヴィさん(3月号で紹介)とは同級生。励ましながら今日まで頑張ってきたと話します。今後は友好協会のお手伝いもしたいと笑顔を見せました。

## ■新入会員

▽第一熱学建設株式会社・田山浩之(水戸市)

▽ホコタ設計コンサルタンツ株式会社・方波見正(銚田市) 敬称略

### 今月の川柳

○ 土に生き 南瓜にたすく 老いの腕

顧問 人見章太郎

○ 野反湖で シラネアオイに 癒やされる

会員 海老根 巖

掲載サイズ赤枠部

機関紙「日本とベトナム」

茨城県版広告掲載のお願い

年度分掲載料3万円

掲載のお申し込みは県連事務局まで

☎029-224-3500

茨城県連合会の支援活動に協力をしていただける方、また支援を希望される方は事務局までお電話またはメールにてご連絡ください。

この機関紙保存版は、ホームページ用に圧縮しているため、広告サイズを縮小しています。詳しくはホームページ画面上部の広告主リンク一覧、もしくは隔月発行の機関紙をご覧ください。

私たちは友好親善の懸け橋  
会報紙の発行を応援します